

事務事業評価シート(事前評価)

事業コード 9-6-1	事務事業名 図書館施設の改修	所管部課 教育部 図書館
----------------	-------------------	-----------------

施策コード 創3-2	施策名 学習活動の推進	施策目標 市民の自主的学習活動を支援する場や多様な学習機会の充実をめざします。
---------------	----------------	--

事務事業の概要	事務事業の目的		根拠法令等	
	市民の学習・文化活動を支える基盤としての図書館を整備し、市民ニーズに応えるサービスを提供するため、中央図書館の施設整備を実施する。		<input checked="" type="checkbox"/> 法律 <input checked="" type="checkbox"/> 条例・規則 <input checked="" type="checkbox"/> 政令・省令 <input type="checkbox"/> 要綱・要領	
	事業内容・実施方法等			
	・平成21年7月にWebレファレンスを試行し、平成22年度から本格的に開始する。 ・レファレンスサービスの強化を図るため、高度なレファレンスに対応できる専任職員を配置するとともに、レファレンスコーナー、貸出カウンター及び地域・行政資料コーナーの移設等、中央図書館のリフォームを実施し、利用者の利便性の向上に努める。			
事業開始時期	平成23 年度	実施形態	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> その他 ()	

事業費データ	項目	単位	21年度	22年度	23年度	目標	年度
	事業費(A)					7,638	
内:国庫支出金・都支出金							
内:地方債		千円					
内:その他 ()							
内:一般財源			0	0	7,638		0
所要人員(B)		人			0.20		
人件費(C)=平均給与×(B)		千円	0	0	1,633		0
臨時職員等賃金(C')		千円					
総コスト(D)=(A)+(C)+(C')		千円	0	0	9,271		0
単位当たりコスト (E)=(D)/ (中央図書館利用者数)		千円	#DIV/0!	#DIV/0!	0.02		

評価指標の設定	活動等指標		単位	21年度	22年度	23年度	目標	26年度
	中央図書館利用者数	目標値	人			400,000		450,000
	実績値							
(指標の説明 など)								
	成果指標		単位	21年度	22年度	23年度	目標	26年度
	一次	レファレンスサービス件数	件			2,300		2,700
	実績値							
二次	利用者満足度	%			70		90	
	実績値							
(指標の説明 など) (二次)アンケート等の実施により利用者のサービスに対する満足度を把握する。								

事業環境等	市民・関連団体等の意見 (アンケート結果など)	平成17年5月に、「西東京市新しい公民館・図書館のあり方(提言)」、平成18年3月に「西東京市公民館・図書館の施設整備について(提言)」が策定され、平成20年3月に図書館協議会が「図書館事業の見直し」について提言を提出し、図書館施設の充実が提案されている。	
	事業実施上における制約や 財源確保等	平成20年6月の図書館法等の改正に伴い、図書館の運営に関する規定の整備がされ、西東京市においても、公共施設等活用検討委員会の基本方針に基づき検討を進めている。リフォーム工事中の臨時休館の対応が必要である。	
	代替・類似サービスの有無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	特になし

事業コード 9-6-1	事務事業名 図書館施設の改修	所管部課 教育部 図書館
----------------	-------------------	-----------------

施策コード 創3-2	施策名 学習活動の推進	施策目標 市民の自主的学習活動を支援する場や多様な学習機会の充実をめざします。
---------------	----------------	--

【一次評価】

検証項目		ランク	<p>検証項目の見方 A: 事業実施の意義を検証する項目 B: 事業の内容・実施方法を検証する項目 C: 市民ニーズの反映度を検証する項目</p>	一次評価	検証項目、評価の判断理由 事業化する上での課題等
A	事業の優先度(緊急性)	3		<input checked="" type="checkbox"/> 事業化 <input type="checkbox"/> 実施を延期 <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 計画を中止	市民の学習支援の環境整備の観点から、市民が利用しやすい図書館施設の整備を図る本事業の必要性は高く、図書館協議会から設備充実に関する提言がだされていることから、優先的に実施すべきと考える。 その他の既存施設の老朽化に伴う改修は、計画的に検討していく。 事業の実施に当たっては、リフォーム工事中の臨時休館への対応が課題となっている。
	事業の必要性	3			
	事業主体の妥当性	3			
B	直接のサービスの相手方	2			
	事業内容等の適切さ	2			
	受益者負担の適切さ	3			
C	市民ニーズの把握	2			

【二次評価】

検証項目		ランク	<p>検証項目の見方 A: 事業実施の意義を検証する項目 B: 事業の内容・実施方法を検証する項目 C: 市民ニーズの反映度を検証する項目</p>	二次評価	検証項目、評価の判断理由 事業化する上での課題等
A	事業の優先度(緊急性)	2		<input checked="" type="checkbox"/> 事業化 <input type="checkbox"/> 実施を延期 <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 計画を中止	施設の老朽化は進んでいるが多くの利用者がおり、本事業の実施にあたっては財政状況を考慮する中で、利用者の利便性向上を優先した施設改修を行う必要がある。 なお、改修中の臨時休館については、事前に十分に告知するなど、利用者への影響を最小限にとどめるよう配慮されたい。
	事業の必要性	2			
	事業主体の妥当性	3			
B	直接のサービスの相手方	2			
	事業内容等の適切さ	2			
	受益者負担の適切さ	3			
C	市民ニーズの把握	2			

【行革本部評価】

行革本部評価	評価の判断理由及び事業化する上での課題等
<input checked="" type="checkbox"/> 事業化 <input type="checkbox"/> 実施を延期 <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 計画を中止	図書館は市民の学習・文化活動を支える重要な施設であり、利用者も多いことから、利便性の向上を目的としてフレックスサービス強化に向けた施設改修を行う本事業には必要性が認められる。改修期間中の臨時休館のあり方を十分に検討したうえで実施されたい。